

Biodata Bank, Inc.

# PRESS RELEASE



## 筑波大学蹴球部における

## リストバンド型熱中症対策デバイスを用いた実証実験の実施

Biodata Bank 株式会社(代表取締役社長：安才武志)では、筑波大学蹴球部と共同し、リストバンド型熱中症対策デバイス『Biodata Band』を活用した、個人の特性にフォーカスした熱中症予防の実証実験(以下、「本実験」という)を実施いたします。本デバイスは環境省の「平成31年度熱中症予防対策ガイダンス策定に係る実証事業」で使用する機器として採択されております。これまでのWBGTを用いたマスをターゲットに行う熱中症対策から、技術の進歩から可能となった個人をターゲットに行う新しい熱中症対策を普及させていくことを目的とする実証実験です。

### 本実験の 概要

期 間：2019年8月中  
対 象 者：筑波大学蹴球部に所属する選手  
実施主体：Biodata Bank 株式会社、筑波大学蹴球部  
責 任 者：安才武志(Biodata Bank 株式会社代表取締役社長)、  
小井土正亮(筑波大学蹴球部監督)



# Biodata Bank, Inc.

## 本実験の目的、内容、期待される効果

屋外活動を主とするスポーツ選手は気温の高まる夏季において、熱中症リスクが高まります。筑波大学蹴球部では、そのリスクを軽減するための様々な取り組みを以前より行ってきました。

今回はその一環として、熱中症の直接的要因である深部体温という部分に着目し、深部体温の上昇から熱中症になる前にアラートを鳴らすことで主体的な熱中症対策（スポーツ飲料水を飲む・涼しい場所で休憩する等）を促すリストバンド型熱中症対策デバイス『Biodata Band』を着用することで、選手個人にかかる熱負荷を可視化した上でこれまでの取り組みの効果を分析検討し、安全に活動を行える事の一助となることを目指します。また熱中症に対する選手の意識、態度、そして行動の変化を分析し、新たな熱中症対策の提案と社会実装につなげることが目的です。

### 本実験の具体的な流れは下記の通り予定しております。

- ① 対象者に対してデバイスの取扱、実証実験の目的 / 意義についての説明を行う。
- ↓
- ② 年齢・身長・体重などの情報をアンケートにより取得。
- ↓
- ③ デバイスを配布し、装着し活動を行う。
- ↓
- ④ デバイスを装着した日の状況・行動をアンケートにより調査。
- ↓
- ⑤ 回収したデバイスからデータを採取。アンケート内容と照合し、統計学的に解析。
- ↓
- ⑥ 共同する機関に対して結果を報告。



本実験により暑熱環境下における選手個人にかかる負荷と身体の状況やその他の予防対策の効果、そしてアラートによる意識の変化と行動変容が明らかになり、個人のバイタルデータと連動した新たな熱中症対策の構築が進展し、ガイドンス策定などその社会実装に向けた道筋が具体化されます。

The collage features several key elements:
 

- A photograph of the Biodata Band device on a person's wrist.
- A registration form with fields for name, age, height, weight, and team, along with a QR code for device distribution.
- An informational flyer explaining that heatstroke risk can be detected by 'heat accumulation' (熱ごもり) and that the device provides alerts when this occurs.
- Logos for Biodata Bank, Inc. and the National Institute of Advanced Industrial Science and Technology (AIST).

図：配布する『Biodata Band』

本件に関する  
お問い合わせ先

#### Biodata Bank 株式会社

担当：塩谷隆太（メディカルラボ統括責任者）

電話：03-6416-4924 Email: shiyoa@biodatbank.co.jp HP: <https://biodatbank.co.jp/>